

南魚沼市立小・中学校の今後のあり方 ～学区再編等検討委員会の答申について～

【問合せ】 学校教育課
☎773・6700

今までの学区再編の取り組み

南魚沼市では、平成20年の学区再編等検討委員会の答申にもとづき地域との協議を行い、小中学校の統合を進めてきました。これにより小学校は20校から16校に、中学校は6校から4校になりました。

しかしながら、さらなる少子化など教育環境に大きな変化が見込まれたため、令和4年10月に教育長が学区再編等検討委員会を再度設置し、小中学校の今後のあり方などについて諮問しました。15回の会議を経て、3月に学区再編等検討委員会から答申がありましたので公表します。

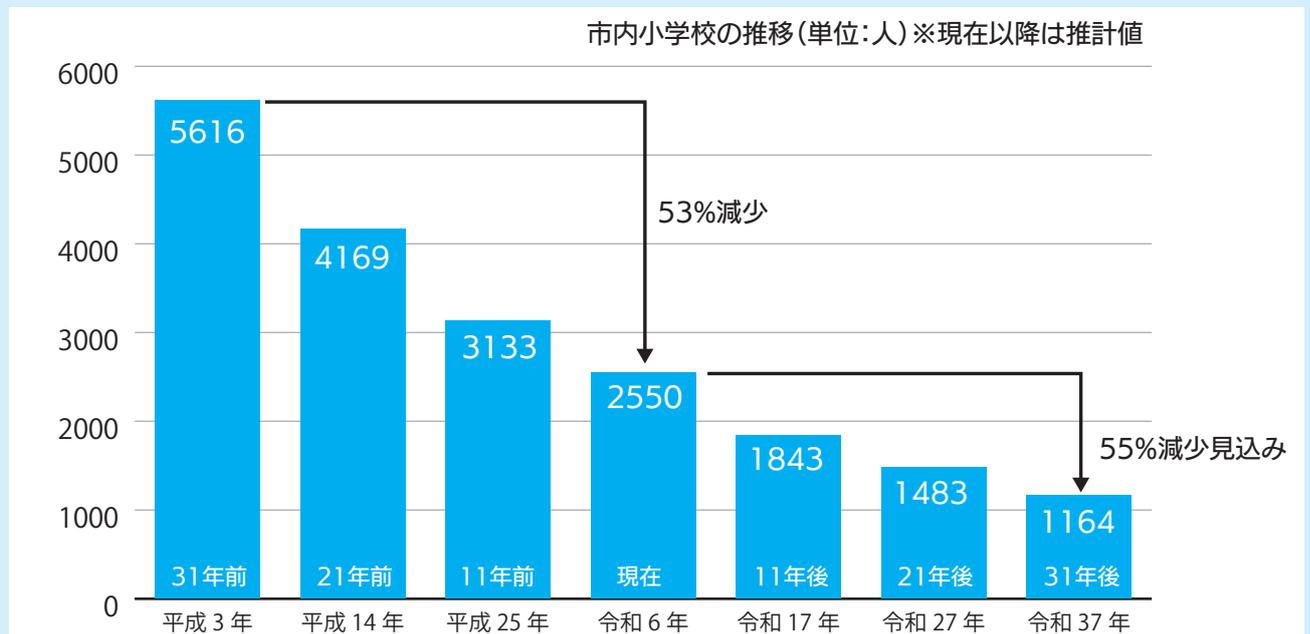


平成30年に開校した八海中学校

現在の課題

①少子化の急速な進展

毎年の出生数と調査による将来人口の推計では、急速な少子化が見込まれています。近い将来、少子化により1学年の人数が減少し、多くの学校で複式学級が生ずる可能性があります。令和6年の児童数は、平成5年（31年前）と比較して53%減少しました。今後もこの傾向は続き、推計では令和37年（31年後）には現在からさらに55%減少する見込みです。



②地域とのかかわり

学校は地域のさまざまな活動において重要な役割を担っています。地域では、学校の存続に対する関心が高く、学区再編を進めるには保護者や地域住民の理解と協力が必要です。



③学校施設の老朽化など

市内の小中学校では老朽化が進んでいます。今後統合を検討する場合は、改修、更新時期なども念頭に置き、二重投資とならないよう注意する必要があります。